

「試料を固定して」研磨する 『IS-POLISHER』が話題！

池上精機

池上精機（横浜市港北区新吉田東八―三―一〇、☎〇四五―五三―一四〇五九）は、九月三日～五日より幕張メッセで開催された「JASIS」に、試料研磨装置「IS-POLISHER」を出展し、多くの来場者より好評を博した。「IS-POLISHER」は、試料を包埋せずに研磨することができ、観察



IS-POLISHER

い場合には、ウェイトホルダ部に研磨圧調整ウェイトを載せて対応。ウェイトは、100g・50g・25g×2個が付属されている。これにより研磨で重要な荷重の数値化管理ができる。

研磨量を規制するストップを装備。微細な構造の中目的の位置を出したい場合の削り過ぎ防止に有効である。（最少目盛2μm）

装置の操作は操作パネルで実行。研磨盤の回転数の方向や速さ、スインクの速度、時間などの数値を入力することにより簡単に動作のセッティングを行うことができる。

数値と試料の性質、試料の固定方法、試料のサイズなど必要な条件を残すことで、従来では経験と勘を要していた技術を全て数値化

同装置の優れた研磨機能は、半導体の構造解析、金属組織の観察、アルゴンイオンエッチングなどの前処理、傾斜研磨―など様々な分野で活躍。豊富なアクセサリとオプションを利用することにより、更に活躍の場を広げることができる。

<http://www.ikegamis.eiki.co.jp>

IS-POLISHERの操作パネル



は試料を外さずに装置横の顕微鏡で行える画期的な試料研磨装置である。同装置は、豊富なホルダで繊細な試料を正確かつ強固に試料を固定。精度良く試料の向きを補正することにより、従来機では困難とされていた仕上げを実現する。これは微小荷重研磨によるもので、従来で見ることのできなかつたEBSDなどの組織を見ることを可能にする。

省スペース設計をコンセ

ウェイトキャンセラ



また、包埋しないで研磨することができ、観察までの時間が劇的に早くなる。また、研磨圧を増やした

株式会社 池上精機

